

議会だより そとがはま

第73号

令和5年8月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定

9月8日(金)～14日(木)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



7/5 龍飛崎海岸清掃 (龍飛崎海岸)

目次

- 第144回6月定例会／2～4
- 一般質問：6議員が登壇／5～10

- 議会活動報告／11
- 県知事表敬訪問ほか／12

一般会計に物価高騰対策事業費等 2億5562万円を追加補正

6月定例会

●6月補正予算●

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	2億5,562万円	56億9,733万円
国民健康保険特別会計	▲228万円	10億1,172万円
介護保険特別会計	489万円	12億3,289万円
大字費特別会計	11万円	140万円
病院事業会計 (資本的収入)	3,357万円	1億6,582万円
病院事業会計 (資本的支出)	3,352万円	1億9,508万円

令和5年第144回定例会は6月8日から12日までの5日間の日程で開催され、補正予算案、人事案件など24件を審議し、原案のとおり可決及び同意・答申しました。
一般質問は6人の議員が登壇しました。内容については、通告順に5〜10ページに掲載しています。

「たがへん(汝)」

一般会計補正予算

新型コロナウイルス スワクチン接種

問 戒修議員／現在ワクチンの接種を受けようとするかなり混んでいて、2カ月ほど待たなければならぬような話も聞く。現状どういふ方がワクチンを受けることができて、その接種を受けるサービスの利用状況はどうなっているのか。

答 福祉課長／5月から始まった春開始接種については、まず65歳以上の高齢者及び65歳未満の医療福祉関係の従事者、特定疾患をお持ちの方が対象となっている。今年度については、現時点で1136名が接種可能人数となっており、すでに個人病院は予約を締め切っている。外ヶ浜中央病院は数名の空きがある。

ごみ収集運搬委託

問 福井洋一議員／ごみ収集運搬委託料220万8000円を今定例会に計上した理由は。

答 住民課長／昨年の大雨災害で、半壊家屋の方は国の補助金で対応できなかったことから、本人が解体したもののについては一般廃棄物として



仮置きされた災害ごみの上に不法投棄されたごみ

受け入れできないと回答があり搬出できなくなつた。また、今回の災害とは全く関係のない不法投棄ごみもあり、合わせて13トンの処理について、今回提案したものである。なお、不法投棄については外ヶ浜警察署に通報しているところである。

河川改修工事 河川設計業務委託

問 浜谷恭市議員／この計画は藤島川と認識しているが、どのような形で進めることになっているのか。

答 建設課長／河川改修工事実施設計について

では、藤島川、そして蟹田地区の関根股沢川と砂川川が対象になっている。藤島川については、昨年大雨で被害を受けた場所なので、森林管理署もその後、流木を防止するためのダムや堰堤の計画をしている。それを踏まえて、どこを補修すれば

住宅リフォ ム支援事業

問 安藤英博議員／今回補正予算で100万



流木・土砂が撤去された藤島川の様子

円見込んでいますが、現在何件の申し込みになっているのか。また、この100万円の補助金を消化した場合、9月議会で補正していくという考えがあるのか。さらに、この経済効果は。

答 建設課長／現在申請を受付している件数が10件である。経済効果については、大規模なリフォームの方もいたのので3834万8619円となる。補助の額としては195万9000円となる。今回100万円の補正をあげたが、その後4件ほど問い合わせがあったので、またさらに増えた場合については、9月の議会の際に追加補正を考えている。

辺地に係る総合整備計画書

問 柳谷隆男議員／今回、大平山元遺跡と階段



辺地債を活用し大平山元遺跡周辺施設を整備

国道整備の2件について、地方交付税に算入される部分が8割ということで、素晴らしい辺地債だと思っている。今後、辺地債を使う施設など予定されているのか。

答 企画政策課長／今のところは計画している。

ないが、今後大きい事業が続くときに関しては、過疎対策事業債だけに要望が偏ってしまうと配分がでなくなるので、事業全体を見て過疎債に偏っていると思ったときは辺地債も検討したいと思っている。

人事案件

任期は令和5年7月20日から令和8年7月19日まで。

◎外ヶ浜町固定資産評価審査委員会委員
(令和5年6月22日任期満了に伴う提案)

- ・余地 久信 氏
 - ・銭谷 忠雄 氏
 - ・須々田 正美 氏
- 任期は令和5年6月23日から令和8年6月22日まで。

◎外ヶ浜町教育長
(令和5年8月31日任期満了に伴う提案)

- ・五十嵐 義人 氏
- 任期は令和5年9月1日から令和8年8月31日まで。

◎外ヶ浜町教育委員会委員
(令和5年6月17日任期満了に伴う提案)

- ・戸 光子 氏
- 任期は令和5年6月18日から令和9年6月17日まで。

◎人権擁護委員
(令和5年9月30日に在任特例満了による欠員が生じることによる推薦)

- ・宮田 宏志 氏
 - ・石田 和仁 氏
 - ・米谷 茂樹 氏
 - ・木村 毅晴 氏
 - ・川村 正弘 氏
- 任期は令和5年10月1日から令和8年9月30日まで。

外ヶ浜中央病院の救急受入れと 医師確保のための行動と対策を

■答弁▼関係機関と連携を図りながら医療体制の確保と常勤医の確保に努める



安藤英博議員

◆質問／長年にわたって旧蟹田町ときから、上磯地域の救急医療体制を守ってきた。この4月から常勤医師が6名から3名になり救急受入れが休止になったことで、外ヶ浜町民をはじめ、今別町、蓬田村の住民の方々からも大きな不安や不便になり、夜も安心して眠れない、早く前の外ヶ浜中央病院にしてほしいと、多くの声が寄せられている。病院開設者である町長は、救急受入れ体制と医師確保でどのような行動と対策をこの間取ってきたのか伺う。

◆再質問／昨年11月に、令和5年の4月から医師不足になるということで町長、院長、病院事務長が弘大のほうにお願いに行ってきた。その後、県庁、県病、弘大病院のほうに、何回ほどお願いに行ってきたのか、正式な要望書を持って行っているのかお聞きしたい。

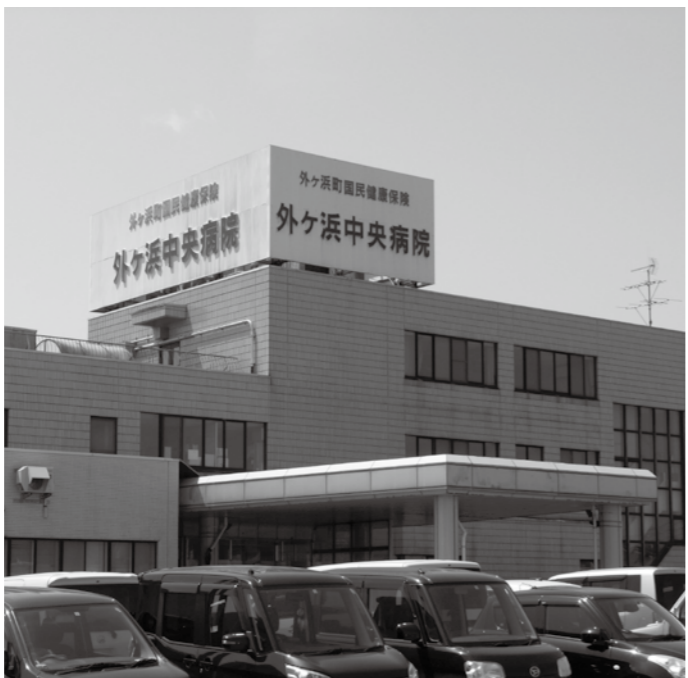
◆町長答弁／4月以降は、県庁、弘大病院に要望書を持参していない。安藤議員がおっしゃるよう

6月で知事もかわりましたので、知事がかわった以降のほうは効率的なものではないかという判断から、その後、要望を行っている。

◆再々質問／整形外科の上打田内医師が長年診療されて、多くの患者さんが利用していたが、現在は2名の外科医師が週2回から3回の診療となっている。整形外科を必要とする方々は、外科ではなかなか対応できないなどの不安もある。患者の方々の不安などで、6人体制のときから見て患者がどれくらい減っているのか伺う。

◆病院事務長答弁／外科の医師は来ていただいているが整形外科の医師確保は難しい。前年度と比べると大体20パーセント程度減っている。

◆質問／今日の状況を打開するために、今別町、蓬田村と連携して行動を



現在の外ヶ浜中央病院

起こすことが今強く求められているが、この間、蓬田村、今別町との連携をどのように取り組んできたのか伺う。

意見交換を行っている。建設場所の再考、常勤医師の確保、救急医療体制、病院の規模等、建設計画の見直しが必要となっているので、それ以降は意見交換することなく推移している。

一般質問

◆町長答弁／24時間体制の救急医療を行うには、宿日直のできる常勤医を確保し、軽症者の急患対



山口佳子議員

要介護者、介護従事者に介護用品の提供を

■答弁▼より良いやり方で検討していく

か。

◆質問①／町の高齢者サービス「介護慰労金支給事業」とは。

■答弁／在宅で要介護状態にある高齢者を日常的に介護している方の、精神的、経済的負担の軽減を図るため、平成26年度から始まった事業である。

対象者については、介護する方、される方双方が非課税世帯、介護される方が要介護3以上（地域の実情や家族の状況で要介護2以上も差し支えない）で、町の介護サービスを利用していない方となっており、今年度まで述べ27人に支給している。

◆再質問／支給人数が少なくないと思われる。申請を促す努力はされているのか。

■答弁／外ヶ浜町介護慰労金支給要綱に規定する支給要件に該当する方が少ないことが要因となっている。対象者にはもれなく申請の勧奨を通知し申請をいただいている。

■答弁／今後より良い方法で検討していきたい。

◆質問②／町のホームページに掲載されている「そとがはままち認知症ケアパス2」は、町が行っている様々なサービスや取り組みが載っておりとても便利である。インターネットを閲覧する環境にない方のために、冊子にして必要な世帯に配布、もしくは各所に設置

する考えはないか。

■答弁／「そとがはままち認知症ケアパス2」について取り上げていただき感謝する。まずは主要な窓口で印刷したものを設置していくので理解願いたい。

旧平館小学校 中学校の活用について

◆質問①／旧平館小学校は公共施設として生まれ変わり、令和6年のオープンを目指して進んでいるとのこと。地域の方からは「住民が集いやすい、使いやすいようにしてほしい」との声が寄せられている。地域の皆様が安心して利用できる、平館の新たなコミュニティの

場になるよう、バリアフリー対策はあるのか伺う。

■答弁／スロープ、多目的トイレの設置を計画している。高齢者や障害をお持ちの方々にとっても利用しやすい施設となるよう検討していく。

◆質問②／旧平館中学校の活用についてはどのような考えか。

■答弁／民間に譲渡、もしくは貸し付ける方向性になることから、今後の予定としては、民間からの活用の公募期間を本年秋から来年春までの間に設定し、新年度以降に提案内容の審査などを行い、事業者等の選定をしたいと考えている。地域の活性化につながるような活用を目指していく。

そとがはままち認知症ケアパス2

～ずっと わが家で暮らすために～



町ホームページに掲載されている「そとがはままち認知症ケアパス2」



福井洋一議員

外ヶ浜中央病院について

常勤医師が3名になり、診療日、診療時間が短縮され、救急車を受入れしない中央病院の在り方について多くの町民の方々は不安を感じている。

◆質問①／中央病院の設備に不備、不便、不安を感じている状況になっ

ていないか。

■町長／昭和60年の建築から既に38年経過し、施設、設備の老朽化が進み、既に様々なところで支障をきたしている。屋上防水改修、患者用のトイレを和式から洋式への改修及び浴室改修等の計画を立てている。

生死に関わる救急車の受入れを早期に

■答弁▼現状からかなり厳しいと思われる

◆質問②／救急車を受入れしない状態が続いており、何らかの対策を講じてきたのか。

■町長／常勤医師3名を一度に確保することは、現状からかなり厳しいと思われる。

◆再質問／生死にかかわる大変なことであり、救急車を受入れし、死亡者が増えていく状態を1日も早く解消すべき。

■町長／常勤医師の確保を一人でも多くお願いしていく。

◆質問③／常勤医師の確保に向け、弘大大学院及び県に対して、書面を持参し正式な要請をしているのか。

■町長／書面を持参しての正式な要請はしてい

ない。協議を重ね、派遣が可能となった上で文書を持参して正式な要請をすることとなる。

◆再質問／蓬田村長、今別町長、東津軽郡選出の県会議員と現状認識を共有し、3町村及び県会議員の連署の公文書を持参し、医師増援の要請を。

■町長／秋山院長、近隣町村長、県知事も含め、提案していきたいと考え

る。

◆質問④／今、新病院の建設の考えは。

■町長／常勤医師の確保の見通しが立っておらず、議論、検討できる状況にはない。

町の災害に対する総括と今後の対策は

■町長／あと2、3年が現実的などころ。

◆質問①／東日本大震災時と昨年の大雨災害時に対する総括は。

■町長／職員待機、避難者の受入れや避難所運営など様々あるが、それらに係る問題点や改善点を洗い出し、災害対応への改善につなげられると考えている。

◆質問②／無線放送で災害段階の周知や避難の誘導をしているが、放送が聞こえにくいところがないか調査、確認を。

■町長／指摘があった場

合は、各地区の皆様より聞き取り調査を行う。

◆質問③／被害を防ぐための防災対策と被害を最小限に抑える減災対策には公助、自助、共助の連携が必要とされている。事前対策は。

■町長／自分の身は自分で守ること。連携する公的機関や自治会などがお互いの役割を理解し、協力体制の確立をすること。





横山拓雄議員

今後、町として全子育て世代に対する支援策は

■答弁▼子育て支援策については重要課題として取組を進めていく

◆質問／町内にある児童公園の遊具整備が乏しい。今後の整備について伺う。

外ヶ浜町にある児童公園の整備について

■答弁／旧平館小学校を利活用する中で、子育て世代の人たちが集えるコミュニティスペースを作り、1年を通して集まれる場所として、室内を利活用できる旧平館小学校の活用を考えている。

で実施している当町独自の子育て支援は、3歳児から5歳児のこども園、保育所の副食費の半額補助のほか、今年度より新たに、小中学校の給食費の無償化や、児童手当の支給対象外となった方に対する児童手当の特例給付相当額を給付する、外ヶ浜町児童手当特別給付支給事業を開始している。そのほか、新生児のチャイルドシート購入費補助や、妊産婦健診の通院に係る交通費、産婦健診の受診費用、新生児の聴覚検査費用等の助成を行っている。さらに、給付や助成以外でも、妊娠期から出産、子育て期にわたり切れ目のない支援として、保健師や管理栄養士、助産師がいつでも相談できる体制や、法定健診である1歳6カ月児健診、3歳児健診のほか、乳児や2歳6か月児の集団健診など、幅広い支援を実施しており、今後も子育て支援については、町の重要課題として取組を進めていく。

児童福祉対策

◆再質問／公園整備の必要性は、児童の体力向上や子育て世代同士のコミュニケーションの場であり、少子化対策の一環として子育てには欠かせない場所だと考える。そういった観点から、再度公園整備について伺う。

◆質問／物価の上昇が続いている一方で、賃金アップがなかなか見込めず、家計への影響は、各世代はもろろんのこと、子育て世代においても例外ではない。今後、町として全子育て世帯に対する支援策について伺う。

◆再質問／児童数も減少傾向にある中で、副食費全額無償化へは財政が厳しい状況ですが、子育て世代に向けた取組として、大きなアピールだと考える。また、保育料についても同様で、子育て世代にはこの上ない支援であり、3歳未満児への保育料支援も検討できないか。

■答弁／意見を伺ったので、検討していく。



蟹田河川公園



木浪 昭議員

斜路護岸の浚渫について

「やませ」が吹くと漁業者は大量の砂に悩まされている 今後の打開策は

■答弁▼斜路護岸の砂の浚渫事業に関しては引き続き助成していききたい

全くの一時しのぎになっている。

取り組むのか。

◆質問／外ヶ浜漁協の経営者は75件ぐらいいある。そのうちの20カ所、20漁業者が砂に悩まされている。やませが吹くと大量の砂に悩まされていることから、昨年度から町から100万円と外ヶ浜漁協から100万円、合計200万円が全対象者に対して掘削費として出て活用させていただいている。この場を借りてお礼申し上げる。

■町長／やませ等により大量の砂が斜路護岸に押し寄せている状況は把握している。また、昨年8月の大雨で山間部より流出した土砂が海へ堆積している可能性もあり、今後も漁業者から情報を収集し、対応策を検討していきたいと考えている。



斜路護岸の浚渫作業の様子

以前は、掘削して砂をトラックで運んでくれたが、今は船揚げ場内に留め置かなければならない。

斜路護岸の砂の浚渫事業

◆要望／引き続き取り組んでいくという言葉をいただいたことに対して、感謝申し上げます。

ちよつとおかしいのではないかと。農林水産省は漁師の味方なので賛成なのである。その辺が、何か整合性、理屈が全く通らないような国土交通省の話だと私は思っている。

以前は、掘削して砂をトラックで運んでくれたが、今は船揚げ場内に留め置かなければならない。

斜路護岸の砂の浚渫事業

しかし、国土交通省では反対で、国土保全のためと言いつつも、漁港から出る砂も同じ海から出た砂なのである。それを我々漁民に言わせると、

町長も担当の職員に任せきりでなく、出向いて、説得といいますか、当ってほしいと思っっている。



柳谷隆男議員

質問台に立ち

◇質問台に立った思い

これからの4年間、「町民命」の気持ちを持ち続けて一生懸命汗を流す所存です。「ふるさとのために汗かく夢を描く」願わくは、全議員がいたいた3430票という貴重で大切な思い、その思いを大事にし、全議員が一枚岩となって、困難な問題を一つ一つ解決したいと念願するところです。

救急車を受入れる体制へ

◆質問／現在外ヶ浜中央病院は常勤医師が3名と

受入れることができない。とりわけ三厩地区の方々の心情を察すれば、青森市までの道のりはあまりにも酷い。どうか6名の体制になるよう最善を尽くしてほしい。

■町長／常勤医3人では24時間体制の救急医療体制の確保は困難であり、病院機能の維持について



■答弁▼農業・漁業両組合と協議し、魅力ある農村、漁村づくりを進める

稲作農業、ホタテ養殖漁業の後継者、作業者の発掘を

も影響を及ぼすことから、令和5年3月28日より救急告示病院を解除し、救急車の受入れができない状態。三厩地区及び今別地区からは最寄りの救急病院まで1時間以上、三厩地区龍浜からは1時間30分要する。住民の不安を取り除くために救急医療再開に向けて関係機関と連携を密にし、常勤医の確保に努める。

継者、作業者を、町と農業協同組合、漁業協同組合で連携して発掘できないか。

副町長の選任を

■町長／第一次産業については、特に安定的な収入が第一の条件になる。地域おこし協力隊の募集であったり、これから三厩漁港で予定されているにぎわいの場、なりわいの場の取り組みなども含め、町でも農業協同組合、漁業協同組合とも協議を行いながら、魅力ある農村、漁村づくりを進め、町内外に情報発信をする。

◆質問／町長が就任して6年。この間、町が抱えている問題に真摯に取り組んできた。コロナウイルスが5類となり町主催行事も復活し、町が抱えている中央病院等の問題を考えると、副町長を選任し未来ある外ヶ浜町の構築に力を注いでほしい。

◆再質問／外国人労働者も視野に入れて考えられないか。

■町長／外ヶ浜町では、北福海産なども受入れを成功しているので、

■町長／町政の課題に向き合い、災害に強く持続発展する外ヶ浜町を築くため、よきサポーター役として副町長の選任を前向きに検討する。

総務文教常任委員会 町内施設視察

新体制になってから初めての総務文教常任委員会が7月10日に開催され、この日は町内各施設の視察が行われました。

委員の皆さんは、大平山元遺跡やよしつねの湯、旧平館小学校等を視察し、担当者からの説明を受けました。

大平山元遺跡では「宇鉄遺跡や今津遺跡からの出土品等も展示してほしい」、よしつねの湯では「小人の入浴料50円は取らなくともいいのではないか」、旧平館小学校では「とても良い施設、早期に改修・完成を」等の意見が委員から出されました。

総務文教常任委員会では、より良い町づくりのために、今後も活動を続けてまいります。



視察中の委員（旧平館小学校音楽室）



視察中の委員（旧平館小学校体育館）



講師の須田慎一郎氏



受講中の当町議員

県下町村議会議員研修会

7月19日、青森市のリンクモア平安閣市民ホールにおいて、県下町村議会議員研修会が開催され、当町議会からは9名の議員が参加しました。

この研修会は、専門の講師をお招きして毎年開催されているもので、この日の講師は、「タカフジ」「週刊ポスト」「週刊新潮」などの週刊誌や「ビットたけしのTVタックル」などのテレビ番組、ラジオ等で活躍しているフリー・ジャーナリストの須田慎一郎氏で、「これからの政局・政治展望」と題して講演しました。

講演では、自身の体験を基にジョークを交えて熱弁され、参加した議員のみならず、笑いを交えながらも熱心に耳を傾けていました。

東津軽郡町村議会議員健康管理セミナー

〜平成19年以来、16年ぶりの優勝〜

7月20日、東津軽郡町村議会議長会主催による、東津軽郡町村議会議員健康管理セミナーが、蓬田村ふるさと総合センターにおいて開催され、当町議会からは9名の議員が参加しました。

当日は、血圧測定の後、ラジオ体操で体調を整え、ふるさと総合センター内の体育館でモルックという競技を行いました。

モルックとは、スキットルと呼ばれる木製のピンを、モルックと呼ばれる木製の棒を投げて倒して、得点が50点ちようどを目指す団体競技で、フィンランドの伝統的な遊びを元に開発されたスポーツです。



競技前に血圧測定



競技中の当町議員団

宮下青森県知事を表敬訪問



7月11日、町長、議長、議員8名で青森県庁を訪れ、宮下宗一郎新青森県知事を表敬訪問しました。

会談では、町の課題となっている医師不足の窮状のほか、

昨年の大雨で被災したJR津軽線に関連した小国峠の道路整備、ホタテ貝残渣処理の課題について懇談しました。

これに対して宮下知事からは、「市町村の課題は県も一緒になって考えていく」と、前向きな発言をいただきました。

『みなさんの声』 お寄せください

議会だよりでは、議会に関するご意見やご質問、議会だよりへの要望など、「みなさんの声」を募集しています。

例えば：

- ・文字が小さくて読みづらい、見出しをもっと見やすくしてほしい。
- ・質疑についてももう少し細かく教えてほしい。
- ・議会で検討するとされた質疑の、その後を知りたい。
- ・他市町村の議会だよりのように、町内の家族なども取り上げてはどうか。
- ・などなど、どんな『声』でもかまいません。よりよい議会だよりを作るために、どうぞ議会事務局（31-1230）までお寄せください。

いただいた『声』は紙面にて発表させていただくともあります。その際はご連絡させていただきます。

議会広報特別委員会

編集後記

夏の日盛りに、木陰の恋しい季節となりました。新型コロナウイルスが5類に移行され、全国各地でイベントが開催されています。町内でも、各所でさまざまなイベントがとり行われ、コロナ禍前以上の賑わいとなり、子どもたちの笑顔が多く見られるようになりました。

一方で、温暖化の影響なのか、年々、豪雨や猛暑による災害が毎日のように報道され、より身近な問題として感じざるを得ません。これから、本格的な台風シーズンを迎えますが、今一度、災害時の対応と対策を確認して、いざというときに備えるようにしよう。

横山 拓雄

議会広報特別委員会

委員長：福井 洋一

副委員長：横山 拓雄

委員：山口 佳子 / 柳谷 隆男

浜谷 恭市 / 石岡 勉

三上 満